



茨城学園だより

〒310-0111
茨城県那珂市後台
1484-1

TEL 029-298-1555
FAX 029-295-7087

「サマーコンサート2024」

講師 三田寺 佳代子

七月十二日、いつもより少し過ごしやすい気温の中、体育館では、二十二名によるコンサートが開かれました。たくさんのお客様の前で緊張しながらも一生懸命演奏する姿は、たくましく、立派でした。

二十二名中、半分が初めてのコンサートでした。鍵盤にドレミを書きながら最初は苦戦していましたが、ものすごい集中力の練習の結果、あつという間に指はスラスラと動き、両手にまで上達した生徒もいました。その努力は、舞台上素敵な演奏となり、たくさん拍手をいただくことができました。

曲目の選択理由は、ご家族と想つてのものがほとんどでした。離れているからこそ、心を込めていろいろな思いを伝えたかったのでしょう。その一人一人の気持ちは、奏でる一音一音から感じる事ができたと思います。

最後の全体合奏は「合わせる」ことの大切さを感じてもらいたく挑戦しました。

生活の上でも「人の話を聞く耳を持つ」「自分の役割をしっかりと果たすことで全体がま

とまる。」自分は大切な存在であることを合奏を通じて伝えたいと思っています。
これからファイナルコンサートまでの数か月間、生徒達は技術、表現力と共に、心も成長していくと思います。

お忙しい中、長時間、生徒達をあたたかく見守っていただきありがとうございます。ファイナルコンサートでも、ぜひ、頑張って演奏し、満足した生徒達の笑顔を見にきてください。お待ちしております。



六年生の修学旅行

指導一課 曾我 知小里

令和六年七月四日(木)に行われた小学六年生の修学旅行は、浅草と東京スカイツリーに行きました。今回の修学旅行では、電車に乗るのが数年ぶりという児童もあり、東京に近づくにつれ、ビルに囲まれた外の風景に夢中になっていました。

初めに浅草観光をしました。雷門から仲見世通りを歩き、浅草寺でお参りをしました。外国人観光客が多く、児童たちは少し緊張しながらも、事前学習で調べた仏像や建物に関心を持っている様子でした。また、仲見世通りでは初めての場所に戸惑いながらも、お土産や食べ物を購入し、児童にとってはよい経験になったと思います。

次の見学先である東京スカイツリーでは、展望台とすみだ水族館を見学しました。展望台からは東京の街を一望することができ、三百五十mからの高さを体感できたと思います。また、すみだ水族館では、珍しいクラゲや大きなエイ、人懐っこいフグ等、児童の興味をそそる生き物がたくさんおり、時間を忘れて没頭している様子が見られました。

最後に、修学旅行を無事に終わることができ、この経験が児童の成長の糧となれば良いと感じています。



中学三年生の修学旅行

指導一課 黒沢 悠人

今年の修学旅行は、昨年に引き続き、京都・奈良へ七月三日～五日の二泊三日で行きました。

全日程、酷暑の中ではありませんでしたが、梅雨の季節にも関わらず、天候に恵まれた旅行となりました。また、各々が神妙な面持ちで、歴史的建造物を見学し、古都の文化に直接触れることができました。

一日目は、特急・新幹線で移動。法隆寺・東大寺を見学し、東大寺では南大門の金剛力士像の力強さと大仏殿の迫力に圧倒されました。

二日目は、三十三間堂、清水寺、東映太秦映画村、妙心寺(座禅体験)、金閣寺拝観と京都各所を満喫した日となりました。

三日目は、北野天満宮にて合格祈願を行い、今年度各々が進む道に合格できるよう、祈祷をしました。祈祷後には、住職より人生の歩み方、無駄なことはなく挑戦することの大切さについてお話をいただきました。その後は京都駅に向かい新幹線、特急にて学園までの移動となりました。

繰り返しになりますが、酷暑の中での修学旅行となりましたが、各々目的をもって行動ができたと思います。

最後に、京都・奈良と数々の観光名所を變更もなく最後まで見学できたことに安堵しつつ、特別体調を崩す児童が出なかつたことは非常に良かったです。この修学旅行で、一人一人が誰かのために行動し、身を尽くそうとする姿勢を学ぶことができました。今後の人生の中で活かせる経験になればと思います。

遠足

指導一課 岩間 貴仁

今年の遠足は、郊外で活動することを通して、しおりや社会の決まりを守り、集団行動をとることの大切さを身につけること、郊外の施設を見学したり体験したりすることに、見分を広げ、豊かな心と社会性を育むことを目的として実施しました。令和六年七月四日、行き先はアクアワールド大洗と国営ひたち海浜公園の二カ所をまわる行程で行いました。当日は天候にも恵まれ児童たちも気分良く出かけることができました。当日の朝は出発式から始まり園長先生や分教室、指導課の先生方に見送られ、各児童とも少し緊張気味でバスに乗る姿が印象的でした。移行中のバス内では、騒いだりはしゃいだりする様子もなく、静かに窓から見える景色を眺めて過ごす児童たちを見て、私自身が小学生の頃に聞いた「お家に帰るまでが遠足です」という言葉が頭をよぎりました。おそらく児童たちは遠足も学習の一環であることを十分に心得ていたのかもしれませんが、これは児童たちが日頃から茨城学園で学んできた成果を垣間見る瞬間でもありました。

午前中はアクアワールド大洗でイルカショーを体験したり、館内の様々な魚を観覧して回りました。終始落ち着いて行動ができる児童たちの様子をみて、これからの更なる人間的成長の可能性を感じる事ができました。午後はひたち海浜公園内のレストランで昼食をいただきました。学園外の環境下でも寮生活同様、年上を中心に配膳準備やいただきますの挨拶、片付けなど、礼儀正しく振る舞いそして役割意識をもつて主体的に行動する姿を見て、実際に社会に出て行動を試すことの重要性を知ることができました。児童たちの将来を考えると、どんな環境下においても、学園や寮生活での生活習慣を基礎として行動できる大人に育ってほしいと切に願う瞬間でもありました。昼食後は公園内の循環列車を利用して散

策しました。午後からの急激な気温上昇もあり、こまめな水分補給や休憩、気象情報や警報などの情報を引率者や本部職員と共有しながら、熱中症などが起こらないよう留意して引率を行いました。

総括として、今年の遠足は児童のトラブルや体調不良などもなく円滑かつ無事に行うことができました。児童たちにおいては、外部の様々な刺激に影響されることなく普段通りの行動ができたことが何よりの成長であり、また指導者側の視点としては、遠足中の様々な場面で児童たちの成長を確認することができたことを収穫とらえております。

最後に、遠足の企画から実施に至り適切なご助言やご協力をくださった園長先生、分教室の先生方、管理課、指導課の皆様には厚く御礼申し上げます。



野球部

野球部監督 入江 章郎

今年度は関東少年野球大会への参加を目標に四月中旬から野球部活動が始まりました。活動対象を中学生男子とし、入部を希望した十五名でのスタートとなりました。部員の多くは野球経験がなく、中には運動が苦手という児童もいました。そのため、練習は野球の基礎知識や基礎的な技術の習得を中心に活動を行ってきました。また、児童には寮生活、学校生活があつての野球部活動であることを常に意識させ、「ワンチーム」をチーム目標として活動してきました。活動中、児童によつては、安定した生活が送れなかつたり、生活の中で自分の課題に向き合えなかつたりし、生活場面で指導等を受ける児童もいました。しかし、寮職員や学校職員の支援と協力があり、なんとか参加児童全員が最後まで野球部活動をやり遂げることができました。また、大会前には、地域のソフトボールチームや職員チームとの練習試合を行い、試合の流れを学んだり、チームの課題が確認できたりと、大会へのモチベーションに繋がりました。

大会は、結果としては負けてしまいましたが、全員が自分のできるプレーに最後まで集中し、最後の最後まで戦い抜くことができた素晴らしい試合となりました。最後までやり切った児童たちの表情は晴れ晴れしており、それぞれに成長がみられました。

最後になりますが、様々な協力をして下さった皆様そして最後まで頑張りぬぎ、驚きと感動をくれた児童たちに感謝しております。本当にありがとうございました。



関東少年野球大会

指導二課 鈴木 弘昭

野球部が六月十四日(金) 関東少年野球大会(神奈川)に参加しました。部員は十四名で、苦しい練習を乗り越えた児童たちは、紆余曲折ありましたが途中で1人もかけることなく部員全員が大会に参加しました。

大会当日は、天候に恵まれ熱中症が懸念されましたが部員全員が会場の雰囲気にも飲まれることなく望むことができました。会場に到着した時には他施設が試合をしていてその試合を観戦することができました。試合前には整備されたグラウンドで練習を行いました。グラウンドは人工芝でしたが、キャッチボールなど練習をしながらグラウンドのコンディションを確かめることができました。午後からの試合でありましたが不安半分、期待半分といった様子で会場に入ったこともあり緊張感が高まっている様子でした。

対戦相手は東京都萩山学園でした。序盤から相手チームにペースを握られ、諦めかけたところもありましたが部員の頑張り、部員の声援で終盤追い上げましたが、結果的には十対九で惜敗でした。この試合で児童達の最後まで諦めずに自身の精一杯のプレーをする姿や仲間を励まし合う姿は感動と逞しさを感じました。やり切ったという緊張感が良い経験となり今後の生活にプラスとなるものと思います。



プール清掃

指導二課 田中 雅也

令和六年五月二十八日、快晴の中、茨城学園のプール清掃を行いました。児童たち、分教室職員、各寮の職員が総出で取り組みました。

プールの底を一生懸命にデッキブラシで擦ったり、濁った水をポンプやバケツでくみ出したりと、大変な作業となりました。皆が今年の水泳活動に思いを馳せながら、よく頑張つて取り組みました。そのおかげで、清掃後のプールはとてもきれいになりました。この清掃を通して、プールに入つて頑張りたい、泳ぎたいと思う生徒の気持ちが表示れたプールになったのだと強く感じました。

水泳が得意か苦手か、それぞれの感じ方によって、水泳に対する思いは異なると思いますが、それぞれ努力をして泳ぎが上達するよう頑張つてほしいです。夏の暑さに負けず、自分たちできれいにした茨城学園のプールを使用して、思う存分に泳いで水泳を通して成長してほしいと思います。



プール開き



令和六年六月二十七日、プール開きを行いました。皆が真剣な表情で、使用にあたっての注意事項の説明を聞き、これからの水泳に対する意識を高めていました。その翌日からさっそく水泳の授業が始まり、児童たちは元気に水泳の練習に取り組んでいます。個々の水泳のレベルは様々ですが、暑さに負けず、どんどん上達する喜びや、泳ぎ切った時の達成感を茨城学園のプールでたくさん感じて欲しいと思います。

水泳部活動

指導二課 石島 秀紀

令和六年七月八日、今年度の水泳部の活動が始まりました。今年の部員は十二名で、全体的に未経験者が多い中でのスタートとなりましたが、部員一同、八月二十一日に開催される関東少年水泳大会という大舞台での表彰台を目指して、日々ハードな練習に励んでいます。

約一ヶ月半という短い期間ではありますが、この夏の水泳部活動を通して、泳力の向上だけでなく心身ともに成長した姿を見せてくれることでしよう。そして関東少年水泳大会での華々しい活躍を期待したいと思います。

記録的猛暑が見込まれるこの夏、健康面や安全面に十分留意しながら充実した部活動となるよう支援していきたいと思えます。応援よろしくお願いします。

☆生徒のコメント

水泳は個人のスポーツ。辛い時、疲れた時手を抜いたそらそれがすべて自分に返つて来るので、自分に負けない強い心をも身につけたい。(O・O)

水泳に面白さ、四泳法を学び、あきらめず最後まで取り組み、前の自分よりもさらに進歩することを目指したい。(T・N)

小学生から水泳を続けているので、一生懸命練習して、関東少年水泳大会で良いタイム、良い順位に慣れるよう頑張りたい。(H・T)

f

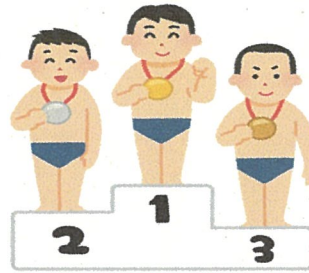


水泳部活動



夏休み、水泳部活動が本格的に始動。
水泳が苦手な児童もぐんぐん成長
しています！

8月下旬に行われる関東少年水泳大会
に向けて部活を頑張っています！



第三者委員会

茨城学園では、施設利用者やそのご家族からの苦情を公平に解決するために第三者委員会を設置しています。子供たちには日頃から困ったこと、嫌なことがあったらいつでも職員に話すように伝えるとともに、第三者委員会の先生に直接話しをきいてほしい時には、苦情受付担当の職員に申し立てることができることになっています。

苦情受付担当者は、茨城学園管理課長、指導第一課長です。また、第三者委員の先生は、弁護士、保護司、元茨城学園長の方が担っています。直接、児童が職員に話しにくい場合には、左写真の意見箱に、相談したい内容を投函することもできます。

